

## 研究機関で雇用する特別研究員-PD等の育成方針

### 【本学の育成方針】

大阪公立大学憲章では、学術研究の自主独立・自由・進取の精神のもと、多様性および国際性を重んじ、これらを融合し、信頼性と公正性を担保した高度な学術研究を推進することを謳っている。この過程において、真理の探究と知の創造を展開・継承するとともに、社会的課題の解決に向けて新たな学術分野を開拓し、研究成果の社会への還元を目指している。

こうした本学の目指すところにおいて、特別研究員-PDの育成に関しては、「大阪公立大学ビジョン 2030」（2023年1月制定）における重要戦略にその方針を掲げている。「研究」部門において、「多様な学問領域群を包含した大学として、卓越した学術研究の推進と、総合知の活用による新たな社会的価値の創出を通して世界の知的競争をリード」すると謳っている。その中で「将来を担う若手研究者・女性研究者の育成・支援」という戦略が育成方針の柱となる。**若手研究者**については、「優秀な若手研究者の獲得・育成のための支援パッケージの策定を行い、次世代研究シーズ育成を推進することで、大学の未来を担う若手研究者の育成と増大、国際的リーダー人材の輩出を図る」としている。**女性研究者**の育成・支援については、研究環境整備やキャリアアップ支援を行い、ダイバーシティに配慮し尊重する研究環境の構築に努めるとしている。

本学では博士後期課程・博士課程を対象としたプログラムを実施しており、自身の専門分野を深く掘り下げると共に、自らの専門知を異分野に活用することで、先導的な研究の創生と未来社会の創造に貢献できる人材の育成に努めている。

研究力は高度な研究を行う基盤となり、国際性はグローバルな問題に対応できる力を養い、研究者スキルはその向上を通じて研究の効率

性や効果を高める。人間力とは適切な人間関係を構築する力であり、影響力は研究成果を広める能力となり、キャリア開発は研究者としての将来の成長を支援する。このようなコンピテンシー育成・強化の考え方や方針に基づき、さまざまな取り組みを実施・展開している。

